

## [001]九州大学大学文書館研究紀要表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/7411150>

---

出版情報：九州大学大学文書館研究紀要. 1, 2026-03-31. Kyushu University Archives  
バージョン：  
権利関係：



## 編集後記

『九州大学大学文書館研究紀要』創刊号をお届けします。

当館の発足から二〇年以上を経過して、ようやく自前での研究成果発表の場をもつこととなりました。

今号には論文「高木磯太郎資料」について―福岡甲種医学校とその時代―を掲載いたしました。九州大学医学部の前身である福岡甲種医学校に関する資料は少なく、高木資料が出てきたこと自体が九州大学史研究にとっては大きな一歩となったと言えます。のみならず、高木の日記の記述により、大森治豊らによる画期的な帝王切開手術が行われた日が、これまでの定説より一か月遡ることが明らかになったことは、日本の医学史に対しても少なからぬ貢献をできるのではないかと考えております。

二〇二六年度は当館の移転を控えており、はたして第二号を刊行する余裕があるのか、創刊以前からすでに当館の関係者の間では危ぶまれておりますが、継続して刊行していけるよう、最大限の努力をしてまいり所存です。読者のみなさまには、ぜひ叱咤激励していただきますよう、お願い申し上げます。

(九州大学大学文書館副館長・教授 藤岡健太郎)